

# けんこれん



ふくしま  
No.42

2023年3月31日



色とりどりの想像力  
花火玉デザイン

親子で竹をくるくる♪  
バウムクーヘン作り

自然の温もり感じる工作  
木工クラフト体験

わくわくがいっぱい!  
映画鑑賞&抽選会



その楽しい!が



## 表彰とメッセージ

- ・全国子ども会連合会より感謝状をいただいて
- ・全国子ども会連合会表彰を受けて
- ・ユースとして参加したジュリアリーダー研修会

# 夢に繋がる



# 会長挨拶



謹啓、皆様にはお変わりなく輝かしい新年度をお迎えの事とお慶び申し上げます。

顧みますと、昨年もコロナウイルス感染症対策やロシアによるウクライナへの侵攻、物価の上昇、大寒波等の大変厳しい一年であります。最近では文部科学省の指針によって、小中学校での学業以外の特設クラブ活動が、地域による自主的活動に変わってきて居り、昭和39年に発足した全国子ども会連合会以下全子連への役割と期待が望まれて居ります。

昭和50年代には八百万人いた会員数も、少子化が進む令和2年には三百七十五万人と激減して居り、学校教育外の子どもの自主的活動、語り合いや体験活動等は各スポーツ団体と連携しながら今日に至つて居ります。

これまで全子連は、初代会長に床次徳三氏、二代会長に藤波孝生氏、九代会長に町村信孝氏と国會議員の方々がおられました。令和4年10月18日、新たな国会議員による議員連盟が、遠藤利明氏を会長に百十五名の賛同の元発足致し、令和5年2月1日開催の第二回目の際には全子連の臨時総会が同時に開催されました。次代を担う青少年の育成と指導者の養成これから大いに期待されます。

最後になりますが、現在福島県子連は、本年7月に予定の東北子連ジユニアリーダー研修会の開催に向けて準備を進めております。ご期待下さいと共に、皆様方のご協力を賜りますようお願い申上げます。

敬意

福島県子ども会育成会連合会  
会長 大内 康司

## 表彰とメッセージ

### 全国子ども会連合会より 感謝状をいただいて

「会津の三波瀬」と言われる地に嫁ぎ五十有余年、「義の思いに馴染むことの難しさを「子ども会を通して人々と出会い、心をふれあい、素晴らしい仲間と多くの方々に」理解頂き、大勢の方々に支えられて参りました。

この間、ふと振り返りますと、文書を届けに長い道のりを自転車で走り回ったり、地区の会合に出席した際終わってみると雪で、地吹雪の帰り道を心配していただいたり等また、市子連会長、県子連会長として、行政の皆様、役員の方々、事務局の方々、大勢の方々に助けられ、寄り添われ、五十二年の歳月が過ぎました。

主役ではない、振り向く人のなくとも必要とされる人でありますと心がけてきました。多くの役職を経験させて頂き、休むことなく活動できましたことに感謝申し上げます。

会長の役職は終えますが、残された人生、自分の思いと残る時間を何と言われてもしつかり前を向いて歩んで行こうと考えております。

支えてくださいました皆様に「ありがとうございました。」

会津に嫁いできたこと、子ども会に出会えたことを誇りに思います。御礼とさせていただきます。

永い間、ご指導くださいました。ありがとうございました。

私が子ども会活動に関わりを持つたのは、長男が一年生に入学したときに学区の副会長が一人足りなく役員さんになり手を探していた時からでした。それから32年間、子供会のイロハも知らなかつた私が続けられたのは、役員の皆様、父兄の方々、それから一緒に活動してくれた子供達のお陰だと感謝しております。

近年は、子ども会活動に関わっているというと、子供もないのに何でやっているのと周りから言われる事もありますが、へ私で良ければ、といつ気持ちでもう少し関わらせて頂きたいと思つております。今後とも宜しくお願い致します。

本当にありがとうございました。



福島県子ども会育成会  
連合会 前会長  
(会津若松市子連 名譽会長)  
新井田 萬壽子

### 全国子ども会連合会表彰を受けて



いわき市子連指導部 草野 栄治  
草野 恵美

## 東北地区子ども会育成連絡協議会表彰

指導者の部：子安正勝（福島市子連）  
鈴木純子（いわき市子連）

育成者の部：湯田典子（会津若松市子連）

## 福島県子ども会育成会連合会会長表彰

団体の部：あいづっこリーダー（会津若松市子連）

個人の部：江花圭司（喜多方市子連）  
熊田典子（郡山市子連）  
高野輝次（郡山市子連）



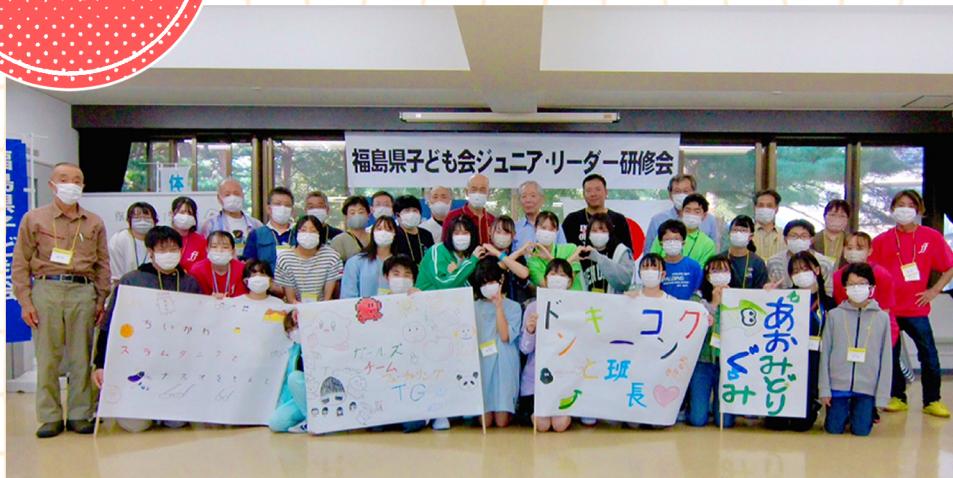
## 受賞者代表挨拶

この度は、令和四年度東北地区子ども会育成会研究協議会の席上にて、個人表彰の栄を賜りました事感謝申し上げます。

福島市子連会員の皆様をはじめ、役員の方々のささえがあっての事と心より感謝申し上げ、「子ども達が企画運営」する本来の目的を達成出来るように尽力してまいりますので、今後とも皆さまのお力添え賜りますようお願いいたします。——子安正勝

## ジュニアリーダー

ジュニアリーダーとは、その名のとおり子ども達のリーダー！  
子ども会の大会や研修会で、企画運営やレクリエーション等の指導を行う青少年ボランティアです。



## ユースとして参加した ジュニアリーダー研修会

濱津ほなみ



郡山ユースリーダーの濱津ほなみはまちやんです。10月1～2日に行われたジュニアリーダー研修会にユースリーダーとして参加しました。ユースリーダーとして参加するのは今回初めてであったため、多くの学びを得ることができました。私がユースリーダーとして活動する上で一番大切に感じたことは、ジュニアリーダーが活躍できるような立ち回りの仕方や指示の出し方です。ユースリーダーが率先して動く場面と、ジュニアリーダーに活動を促すべき場面とがあることを学び、ジュニアリーダーに活動を促すときにはどのような指示を出すべきかを考えることができました。

これからユースリーダーでの活動では、今回の学びを生かし、よりよい活動にしていきます。

## ジュニアリーダー 研修会に参加して

藤田 高希



僕は、今回ジュニアリーダー研修会に参加して、たくさんの貴重な経験をしました。違う地方の方々との交流は初めてで緊張しましたが、事前の打ち合わせを何度も行つことで自分から話しかけるようになり自信を持つて参加出来ました。また、ジュニアリーダーの基本である挨拶や視野を広げるだけでなく、早朝や深夜でも場を盛り上げることや事前の準備の大切さを学ぶことができました。レクリエーション発表の際に、レクを自分でアレンジして新しいものを作ることで、レクの可能性を知る機会になりました。僕が今回の研修会で学んだことは今後の活動に活かし、リーダーズの成長に繋げていきたいと思います。



# 子ども会 活動報告

鶴城地区子ども会の主な活動は、5月鶴城地区大運動会お手伝い、7月鶴城地区花火大会、地区球技大会、9月提灯行列、10月レクリエーション、2月雪の像形展になります。

中でも鶴城地区花火大会は一番大きな行事です。今年度は「コロナウィルスの流行により3年ぶりの開催となりました。地域、市内の企業、飲食店、地区町内会、保護者の方々からのご協賛により開催でてきた事に感謝致します。子ども達の喜ぶ姿を見る事ができ良かったです。また、10月のレクリエーションでは、竹を使ったバウムクーヘン作りを行いました。親子で一生懸命作ったバウムクーヘンは最高に美味しかったです。

個人的になりますが、令和4年度第52回東北地区「子ども会育成会研究協議会青森大会において育成者の部で表彰を受けました。これも県子連会長をはじめ市子連の皆様、鶴城地区子ども会役員、単位子ども会会长、保護者の皆様のおかげと心より感謝と御礼を申し上げます。

## 竹でバウムクーヘン

— 会津若松市子連  
会長 湯田典子



NPO法人福島県もりの案内人の会会津支部の皆さんを講師にお招きして、小学生と保護者などあわせて約50名が参加し、木や枝を上手に切つたり、接着したりして、思いの動物やキャラクターを作りました。また、木製うちわに会津型を使った絵付けも行いました。上手に模様が付けられると歓声があがり、レトロなうちはの出来に満足げな様子でした。参加した子どもたちにとって、夏休みのいい思い出のひとつとなつたようです。

喜多方市子連では、木を使って工作をすることで、森や木などの自然環境への理解を深め、青少年の健全な育成を図ることを目的に、7月30日(土)に木工クラフト体験を実施しました。

## 木工クラフト体験

— 喜多方市子連  
会長 五十嵐勉

# 親善交流は手作りピザ

— 郡山市子連  
会長 森尾和衛



## 花火玉をデザイン

— 須賀川市子連  
会長 中山雄一

新規事業として「子ども会打ち上げ花火玉製作体験」を8月に実施しました。「口ナ禍で活動を休止してきた育成会活動の再スタートとなる様に、参加者の取りまとめを育成会に依頼しました。製作体験内容は、打ち上げ花火の「デザイン」を選び色を塗つて、花火玉レプリカを製作してお持ち帰りいただこうというものです。



10月の花火の打ち上げは、製作体験の参加者が招待され花火製作会社及びイベント主催団体により実施されました。自分のデザインした打ち上げ花火を見つめる子どもの顔は、花火に引けを取らないくらい輝いて見えました。



姉妹都市久留米市と郡山市の間で実施している青少年親善交流事業は、1年おきに小学生を中心とした使節団を派遣し合い、両市の歴史文化を学ぶとともに交流を通じて健全な青少年の育成を図っています。今年度は7月、3年ぶりに久留米市から20名の使節団を受け入れ、郡山市の子ども・ジュニアリーダーと、日数を2泊3日に短縮して実施し、親善交流を図りました。

実施に当たっては徹底した健康管理と感染防止策をとり、「一人の感染者も出さずに終了する」ことが出来ました。次年度は、郡山市から訪問します。

## 抽選会と映画鑑賞

— 船引地区子連  
会長 橋本智幸



コロナ感染症拡大のため、令和4年度も5月に計画した親子山のぼり大会は中止とし、さらに7月下旬に予定していた映画鑑賞会も、第7波の急激な感染拡大により延期としました。映画鑑賞会は感染状況や時期を検討し、感染症対策を行つて1月に実施することができました。鑑賞後に実施したお楽しみ抽選会では、天体望遠鏡や大型水鉄砲等の豪華賞品に子どもたちは大喜びでした。



参加者が少ない中ではありましたが、実施できて非常に嬉しく思います。子ども会活動が制限なくできるようになることを望みます。



役員の私達は、中止ではなくどうすれば開催出来るのかを考えるべきではないでしょうか。

令和5年は全て行事を完遂して行きたい

と思いますのでご協力お願い致します。

## ゴルフ大会

— いわき市子連  
会長 草野恵美子



令和4年11月6日(日)矢田川大橋ゴルフ大会にて小名浜地区子ども会グランドゴルフ大会が行われました。小学生、親子、大原グランドゴルフ愛好会総勢52名が参加しました。



初めての参加者には、愛好会の方々の丁寧な指導により、子ども達はすぐにルールも覚え、歓声をあげながら全員夢中になつてプレーしていました。

みんなさんとても楽しんで、「来年もぜひ参加したい」と感想を述べていました。



しかし各子供会の行事は、中止や、飲食を伴わいで開催する等、予定通りには実施できない状況が続いています。それでも、クリーンアップ作戦や花いっぱい運動への参加等、少しずつできることが増え希望のもてる1年でした。

会では、チアリーディング部が華麗なダンスを披露し会場を沸かせました。その後吹奏楽部によるAAAの「恋音」と雨空、Alexandrosの「ワタリドリ」など合計5曲を披露し子どもたちを魅了する音色を響かせました。

演奏終了後は、吹奏楽部員と参加児童との交流が行われ、楽器の演奏を体験してみたり有意義な時間を過ごしました。

# アクリーンアップ作戦

— 中島村子連  
会長 鈴木里美

# 華麗なダンス

— 古殿町子連  
会長 胡口大貴

コロナ第八波の感染状況が芳しくない中、ご父兄の皆さんのご協力をいただき夏の球技大会と冬のオセロ大会を開催出来ました。

開催に当たり厳しいご意見もありましたが、子ども達がそれぞれが目標目的をもち練習しておりますので、大会中止はありません。

中島村子供会育成連絡協議会は、村内13の子供会で作る連絡協議会で、年3回の理事会と年度末に1回の総会があります。

総会には新旧の各会長が一緒に出席して、引き継ぎがスムーズに行くよう配慮されています。今年度は、「コロナ禍以来2年ぶりに、年3回の理事会が予定通り実施できました。

令和4年10月16日(日)に古殿町民体育館において、2年ぶりに町内の各子ども会を対象に交流事業が開催されました。

今年度は、学校法人石川高等学校チアリーディング部と吹奏楽部を招待した音楽鑑賞会を行いました。

# 子ども会に入ろう！

## 子ども会年会費：1人200円

【内訳】

安全共済掛金70円(10月以降は60円)  
(全子連運営費・子ども会賠償責任保険料を含む)  
県子連運営費130円(各種事業・安全共済管理)

### 共済金額＝

- ① 死亡保険金600万円
- ② 後遺障害共済金程度に応じて7万円～600万円
- ③ 医療共済金健康保険等を適用した医療費総額の30%(支払限度額50万円)(治療期間180日限度)

#### ※ 医療共済金を支払わない場合

- ・事故発生の日からその日を含め180日を経過した後の期間の医療費
- ・総医療点数が333点以下(医療支払額が1,000円以下)の場合・その他、共済約款に定めるもの

### 安全共済会加入のメリット

法律に基づき認可を受けて実施される事業のため、安定性・安心を確保。  
民間保険会社の団体契約に比べ、安価な掛金で手厚い補償◎

### 補償の対象となる子ども会活動

- ・子ども会の活動計画に基づき、1名以上の指導者(20歳以上の者に限る)又は育成会員の管理下にある活動。及び、その計画されている子ども会活動の一環として参加する各種研修会、研究会及び会議に参加して行う活動。
- ・子ども会の活動計画を実施するために必要な調査及び準備のための活動。
- ・上記の活動において、子ども会が指定する集合場所又は解散場所と被共済者の住居との通常の経路の往復中。

### 子ども会賠償責任保険

子ども会活動中、誤って第三者にケガを負わせてしまったり、物を壊したりした時も補償を受けられます。  
身体賠償・財物賠償等、補償内容も充実しています。

### 自転車保険も取り扱っております

個人でのインターネット申込になります。団体料率での割引がメリット♪  
詳しくは全国子ども会連合会のホームページをご覧ください。

福島県子ども会では、  
安全共済のネット加入を  
推進しております。  
PCまたはスマートフォン  
での入力で、名簿や  
行事日程のデータも  
変更可能です。  
ネット加入の対応可否は  
各市町村子連まで  
お問い合わせください。



### ◆令和5年度 事業企画案 ◆

3～4月	理事会・常任理事会の開催	:事務局	7月29～31日	第49回東北地区ジュニア・リーダー大会	:福島県
5月10日	公益社団法人全国子ども会連合会総会	:議員会館	10月27～29日	第56回全国子ども会育成中央会議・研究大会	:北海道
5月14日	東北地区子ども会育成連絡協議会総会	:福島県	11月11～12日	第53回東北地区子ども会育成会研究協議会	:宮城県
5月16日	県子連会計監査	:事務局	12月～3月	編集委員会	:事務局
5月28日	第54回県子連総会・第1回理事会	:郡山市	3月	会報発行	:事務局
6月11日	子ども会安全啓発初級指導者養成講習会	:郡山市	年4回程度	フォルテッソ定例会	:郡山市
6月	福島県育成指導者研究協議会	:未定	通年	会員増強運動の展開	:県内全域

### 役員紹介

会長：大内康司  
副会長：森口和春  
副会長：五十嵐勉

会計監査：小原良一  
会計監査：五十嵐賢一  
事務局長：中山雄一  
会計：羽田美子

編集発行  
福島県子ども会育成会連合会  
〒963-8852  
郡山市台新1-31-10台新ビル110号  
TEL 024-934-4881 FAX 024-954-3981

